

中国長春市近郊におけるポリプロピレンコンパウンド合弁会社設立について

住友化学は、中国吉林省長春市の樹脂コンパウンド事業会社である吉林省新東泰工程塑料有限責任公司（新東泰）と合弁で、自動車向けポリプロピレン（PP）コンパウンドの製造・販売を行う会社を、8月12日に設立いたしました。合弁会社は、長春市近郊にPPコンパウンド製造工場を新設いたします。

PPコンパウンドは、PPに合成ゴムや無機フィラーなどの素材を混練し、耐衝撃性や剛性などを向上させた高機能材料で、自動車のバンパーや内装材として使用されています。自動車の生産台数が増加するとともに、自動車の軽量化のため1台あたりの使用量も増加していることから、年々需要が伸長しています。住友化学は、グローバルに事業を展開する自動車メーカーのニーズに応えるため、かねてよりPPコンパウンド事業のグローバル展開を積極的に進めており、中国華南地区を皮切りに、欧州、北米、タイ、サウジアラビアに事業拠点を設立し、拡大を図ってまいりました。

経済的な発展とともに世界最大の自動車市場となった中国においては、2005年、広東省珠海市に珠海住化複合塑料有限公司を設立し、主に華南地区の需要に応じてまいりました。また、華北地区への供給体制の拡充・整備のため、先般、遼寧省大連市に新会社を設立することを決定し、日系自動車メーカー向けを中心としたPPコンパウンド事業の一層の強化に取り組んでいるところです。

一方、近年、中国市場における存在感を急速に増している中国現地自動車メーカーへの事業展開が、今後の事業拡大における課題となっており、今回、この課題に対する新たな取り組みとして、現地資本との合弁による事業拠点を設立することとしたものです。

合弁会社のパートナーである新東泰は、PPをはじめとする樹脂コンパウンド製品を、主に、中国の大手国有自動車メーカーである中国第一汽車集団公司に供給しています。本合弁会社は、新東泰が持つ中国現地自動車メーカーへの供給実績と、住友化学の技術力のシナジーによって、需要家のニーズに応じてまいります。

当社は、今後ともPPコンパウンドのグローバル供給体制を一層充実させ、事業の拡大、収益基盤の強化を図ってまいります。

<新拠点の概要>

- ・会社名 吉林省東承住化汽車複合塑料有限公司
- ・所在地 中華人民共和国吉林省公主嶺經濟開發区
- ・出資比率 住友化学：50%、新東泰：50%
- ・生産能力 2万トン／年
- ・設立日 2011年8月12日
- ・操業開始 2012年1月（予定）

<新東泰の概要>

- ・会社名 吉林省新東泰工程塑料有限責任公司
- ・所在地 中華人民共和国吉林省長春自動車産業開発区
- ・資本金 500万人民元
- ・事業内容 自動車向けを中心とした樹脂コンパウンド事業
- ・董事長 張 喜慶